

がん患者支援で協力

岐阜ホテル会と雇用創出など推進

活動を支援する寄付金を手渡す岐阜ホテル会の藤井幸彦会長(左)＝岐阜市長良、岐阜グランドホテル



岐阜、西濃地域の18ホテルでつくる岐阜ホテル会とNPO法人がんサポートセンターは、がん患者と家族の支援で協力関係を結ん

人をもとに、センターが勤務の条件などの情報を提供していく方法が検討されている。同会の藤井幸彦会長(51)＝ホテルイルクレド岐阜支配人＝は「社会貢献を考えていたところにセンターから話をいただいた」と協力

を決めた経緯を説明。「昨年の全国障害者スポーツ大会(ぎふ清流大会)で経験している」と受け入れの実現性を話した。同会は協力の手始めに活動資金を贈ることにし、岐阜市長良の岐阜グランドホテルで開かれた会合で藤井会長がセンターの白田高夫理事長に現金3万円を贈った。(村瀬正樹)

だ。両者はセンターが展開する「モアハピ・プロジェクト」事業と、雇用の創出を押し進めていく。同事業は、がん患者と家族の社会参加が目的。外出、旅行による思い出づくりのサポートをつたっており、車いすの患者の介助、減塩などの特別食といった対応を宿泊施設に求め、それらの施設を患者や家族に案内する。雇用については、まだ具体化されていないが、各ホテルからの求